

## 研究課題「在宅における慢性創傷予後予測のための

## 包括的アセスメント方法の確立」へのご協力をお願い

当研究室では、慢性創傷の予防・管理のための研究を行っております。

### 【研究課題】

在宅における慢性創傷予後予測のための包括的アセスメント方法の確立（審査番号 12073）

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関：

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 老年看護学/創傷看護学分野

研究責任者：仲上豪二郎

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 老年看護学/創傷看護学分野 准教授

担当業務：匿名化・データ収集・データ解析

### 【研究協力施設】

研究機関：TOWN 訪問診療所

### 【研究期間】

2018年7月23日から 2023年6月30日

### 【対象となる方】

2017年4月1日から2018年12月31日までにTOWN訪問診療所で創傷の訪問診療を受けた方。

### 【研究の意義】

創傷を早く治すためには、創傷が治るかどうかを予測し、より適した治療・ケアを行うことが重要です。現在、主に肉眼的所見（傷の見た目）から予測がなされますが、必ずしも当たるとは限りません。より正確な予測方法を確立することで、治療・ケアの選択の助けとなることが期待されます。

### 【研究の目的】

血流検査や滲出液検査の結果を解析することで、より正確な予測方法を確立することを目的としています。

### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている検査データや創傷に関する情報を収集して行う研究です。この研究のために患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において仲上豪二朗が、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合の参加拒否の申し出は、2018年10月1日までに下記の研究事務局にご連絡ください。ご家族からのご連絡もお受けいたします。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。ご連絡いただく前に論文等で公開されたデータにつきましては、取り下げることはできません。

研究結果は、個人が特定出来ない形式により学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら下記問い合わせ先へお尋ねください。

この研究に関する費用は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2018年7月

### 【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 老年看護学/創傷看護学分野  
准教授 仲上豪二朗

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3424（内線23424） FAX：03-5841-3442

Eメールでのお問い合わせ：gojiron-tky\_at\_umin.ac.jp（\_at\_を@に変えてください）